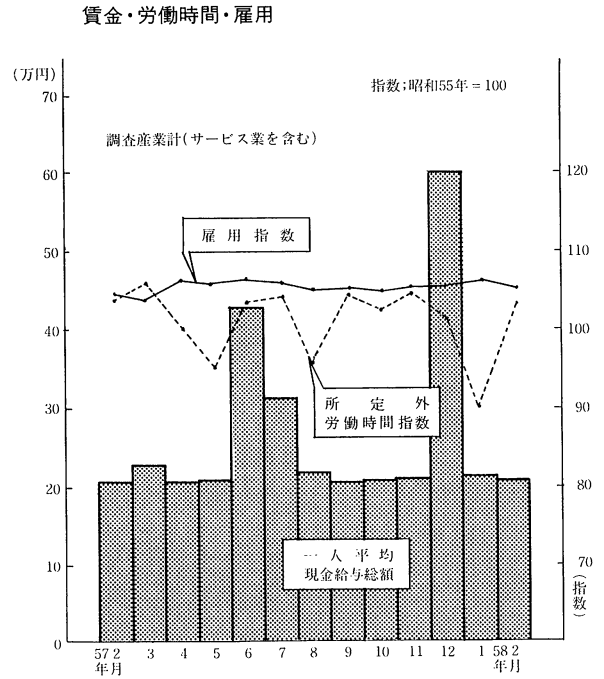
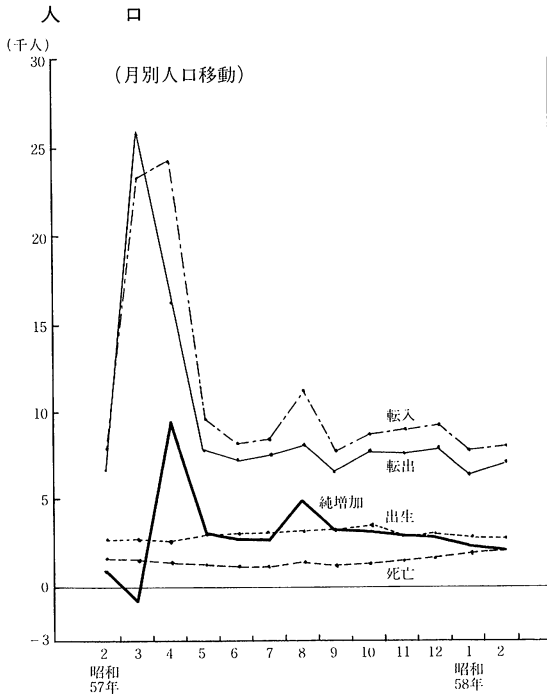
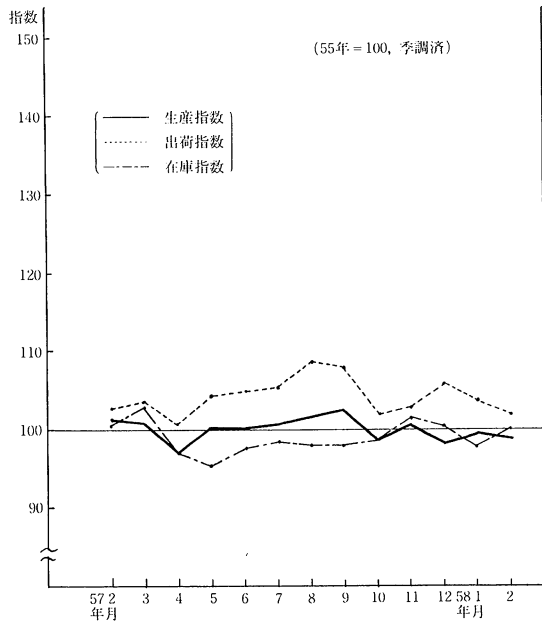


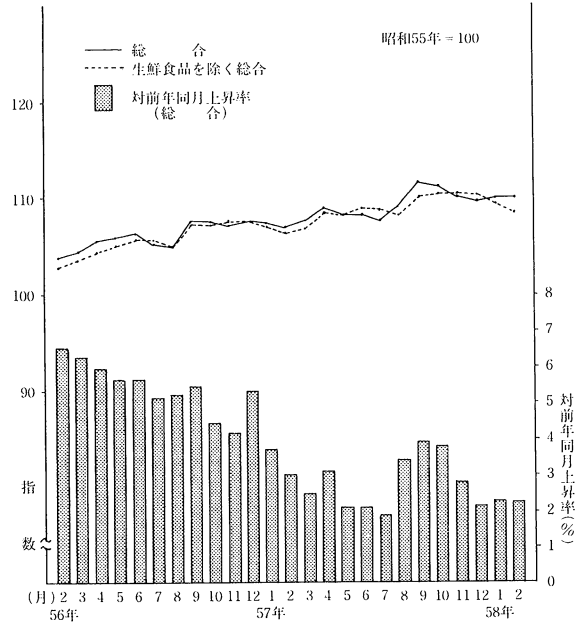
# 今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 茨城県企画部統計課

■ 人 口 (3月1日)

人 口 2,645,141人  
 男 1,316,766人  
 女 1,328,375人  
 世帯数 727,280世帯

注) 人口、世帯数とも外国人を含む。

本県の人口は、2月中に1,747人増加した。昨年3月1日

と比較すると37,543人の増加である。

内訳では、自然増加999人(出生2,740人、死亡1,741人)、社会増加748人(転入7,839人、転出7,091人)である。

市町村別では、増加18市49町村、減少23町村、増減なし2村である。

世帯数は587世帯増加した。

■ 賃金・労働時間・雇用 (2月)

1. 平均賃金の推移

2月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む) 1人1ヵ月平均現金給与総額は207,627円で前月に比べ1.5%減(前年同月比4.9%増)であった。

このうちきまって支給する給与は205,691円で、前月に比べ1.3%増(前年同月比4.5%増)であり、特別に支払われた給与は1,936円で前月に比べ5,962円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は171.2時間で、前月に比べ4.8%増

(前年同月比2.1%減)であった。

このうち所定内労働時間数は155.3時間で、前月に比べ3.9%増(前年同月比2.2%減)であり、所定外労働時間数は15.9時間で、前月に比べ14.4%増(前年同月比0.9%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、104.2で、前月に比べ0.6ポイント減、前年同月に比べ0.1ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (2月) — 建設財に回復の兆し —

昭和58年2月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が98.9、出荷が102.0、在庫が100.1で、前月比はそれぞれ▲0.4%減、▲1.2%減、2.5%増となった。前年同月比(原指数)は、それぞれ▲2.4%減、▲0.3%減、▲0.8%減となった。

生産は、業種別にみると金属製品、非鉄金属等が上昇し輸送機械、一般機械、鉄鋼業等が低下した。

出荷は、業種別にみると金属製品、非鉄金属、鉱業等が上昇し、輸送機械、その他製品、一般機械等が低下した。

在庫は、業種別にみると皮革製品、輸送機械、繊維工業等が上昇し、鉱業、食料品たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると、建設財が生産、出荷、在庫の三部門で上昇し、その他用生産財が出荷、在庫の二部門で低下していることが目立つ。

■ 消費者物価指数 (2月) — 対前月比(-)0.3%、対前年同月比(+ )2.3% —

昭和58年2月の茨城県消費者物価指数は、55年を100とした総合指数で109.5となり、前月に比べ(-)0.3%の下落、前年同月に比べると(+ )2.3%の上昇となっている。

今月上がった主な項目……野菜・海草 (+)3.5%

(うち生鮮野菜) (+)5.2%

今月下がった主な項目……衣 料 (-)8.0%

菓 子 類 (-)3.8%

他の光熱 (-)3.2%

生鮮食品(生鮮魚介・生鮮野菜・生鮮果物)を除く総合指

数は109.2となり、前月に比べ(-)0.5%の下落となった。

費目別指数(55年=100)

1 食 料は	110.9	6 保健医療は	105.4
2 住 居は	110.1	7 交通通信は	109.1
3 光熱・水道は	109.2	8 教 育は	121.2
4 家具・家事用品は	104.3	9 教養娯楽は	110.6
5 被服・履き物は	102.3	10 諸 雑 費 は	107.8